



# 消費生活センターだより

■編集・発行 稲城市・稲城市消費生活センター運営協議会 ■問い合わせ 稲城市市民協働課 TEL378-2111(内線272)

## 第四文化センターまつりで啓発活動を行いました!

2月23日(土)に第四文化センターまつりで消費者啓発活動を行いました。消費生活相談員が消費に関わるクイズを出題し、参加者に消費行動を見直してもらう機会となりました。



消費生活センター運営協議会では、来場者

の方々にアンケートを行い、「はい」か「いいえ」で回答していただきました。質問のうちの一つ「買い物袋を持参してレジ袋をもらわない」に対しては、「はい」と答えた方がおよそ7割いらっしゃいました。

レジ袋はスーパーやコンビニなどで当たり前のようになっています。ただ、使い終わったレジ袋のほとんどがそのまま廃棄され、ゴミとなっています。また、レジ袋を焼却すると地球温暖化の原因となるCO2が排出されます。買い物に行く際はなるべくレジ袋を持参して、環境にやさしい行動を心がけましょう。

### 開催報告! 消費者講座

## 大人のための社会科学 ~雪印メグミルク野田工場・ファンケル美健千葉工場見学~

雪印メグミルク野田工場では、消費者が普段使用する乳製品の製造方法を学ぶことで、食の安全について考えること、ファンケル美健千葉工場では、化粧品が医薬品製造レベル

のクリーンな環境で作られることを学ぶことにより、安心した消費生活を送ってもらうことを目的に、2月19日(火)に開催しました

雪印メグミルク工場では、牛乳とデザートチーズの試食、説明とスライドを見た後、工場を見学しました。この工場では牛乳、加工乳、紙パックジュース、ヨーグルトなどを製造していました。成分を調整しない牛乳パックの上部にのみ視覚障害者のために窪みがあり、加工乳にはそれが無いなど、興味深い説明もございました。



ファンケル美健工場では、医薬品製造レベルでのクリーンな環境で化粧品が作られているところを見学することができ、商品を送りだすために厳正な検査を行った上で、消費者へ提供されていることを学びました。

稲城市消費生活センター運営協議会では、市との共催により、消費生活に役立つ講座を実施しています(平成30年度は6回実施)。広報いなぎや消費生活センターだよりでお知らせしていきますので、是非ご参加ください。



## 老後、いくらあればいいの

お金は大切なものです。また心配の種です。特に長寿100年時代、退職後の余生のお金がより心配です。到底、年金だけで暮らしていけそうには無いと心配で不安になります。

そこで大切なのは「計画と目標」です。総務省の「家計調査.2015」では平均的な夫婦（夫65歳、妻60歳以上）二人世帯の生活費は27.5万円と報告されています。

一方、年金収入はといえば平均21.3万円で6.2万円毎月不足します。仮に85歳まで生きるとして、12ヶ月×20年×6.2万円＝1,488万円の預金が65歳までに貯める必要があります。最低限の預金目標は1488万円です。旅行など余裕がほしければ上積みする必要があります。それを目標に月々いくら預金していく必要があるか計算してみてください。

けれど、年金が21.3万円より低い人はもっと貯める必要があります。その上、住宅ローンや、教育資金、住宅リフォームや車の買い替え、など生活費以外にもお金がかかる点にも注意が必要です。

定年退職後も働き続けることも必要かもしれませんが、その場合は年金がカットされることもあります。

1. まず、最低1488万円の老後資金目標にします。⇒目標
2. 硬貨でさえ無駄遣いせず預金箱に入れる。⇒資産
3. ローンやクレジットで購入しない。⇒負債
4. 所得に見合わない家や車を持たない。⇒負債
5. 「必ず儲かります」「絶対値上がりします」はこの世に無い。⇒詐欺
6. 教育資金をケチらない。⇒投資遺産
7. 毎月定額と賞与時積立額を習慣にする。⇒目標達成

上記のことを実施して、老後に備えましょう。

## 簡単に高額収入を得られません。情報商材のトラブル

「老若男女誰でもすぐ収入が得られる」というメールマガジンを見つけ、約30万円で情報商材とソフトウェアを購入したが、ソフトウェアが起動せず、収入が得られない。苦情を伝えると月収1千万円を得られるという上位のコースを勧められた。「必ずフォローする」「代金50万円を半額にする」と強引に誘われ、断り切れず契約したが、その後連絡はなく、全くフォローもない。(60歳代 女性)



<ひとこと助言>

消費者庁イラスト集より

☆副業や投資等で高額収入を得るためのノウハウ等と称してインターネット等で販売されている情報のことを「情報商材」と言います。☆広告等をきっかけに、簡単に収入が得られると信じて契約したものの、広告や説明と違って収入が得られないという相談が多数寄せられています。情報商材をきっかけにソフトウェアやコンサルティング等を契約させられるケースもあるので注意が必要です。

☆簡単に高額収入を得られることはありません。寄せられた相談をみると、実際にはあまり価値のない情報が高額で販売されていますが、契約前に内容を確認することが出来ないので、安易に信用して事業者に連絡しないでください。

☆不安に思ったときは、早めにお住まいの自治体の消費生活センター等にご相談ください。(独立行政法人国民生活センター 見守り新鮮情報より)

クーリング・オフなど契約に関する相談は…

稲城市消費生活センター

相談電話 042-378-3738

月～金曜日 午前9時30分～正午、  
午後1時～3時30分